

新しい国づくり

外交・安保

自分の国は自分で守る

日米同盟を強化し、核の脅威から国民を守ります。



われらが国をつくった気概を理解せぬ者たちは、もう一度国家なるものがなくなったらどうなるかということ、身にしみて、その危機感の中で真剣に考えねばならない。

〔大川隆法著「西郷隆盛 日本人への警告」より 2010年2月23日露示〕



西郷隆盛

2 防衛産業を育て、隣国の脅威に対する十分な防衛体制を築きます。

- ① 世界第2位の大国として、10年以内に約100兆円を投資します（航空・宇宙産業などを含む）。
 - ・中国はアジアの制海権を狙って空母建造に入っており、日本としても対抗手段として空母建造をただちに始め、日本から中東にかけてのシーレーン（海上交通路）の秩序維持に努めます。
 - ・ステルス戦闘機の国産化を図ります。
- ② 中国などの日本に照準を合わせる核兵器への抑止力を構築します。
 - ・巡航ミサイルを備えた潜水艦隊を充実したうえで、原子力潜水艦や人工衛星からの抑止力も築きます。中国にアジアの覇権国家の道をあきらめさせます。
 - ・日本の最先端技術を応用し、核兵器を無力化する研究を進めます。
- ③ 歴史問題に対しては、毅然たる態度で臨みます。
 - ・日中両国間などで懸案となっている歴史認識問題に対しては、「日本に向けている核ミサイルを廃棄してから、日中の平和を語るべきだ」と堂々と反論します。

3 憲法9条を改正し国民の生命を守ります。

4 宗教的精神に基づき、世界の平和と核廃絶を実現します。

- ・「キリスト教圏」対「イスラム教圏」の戦いに終止符を打つために努力します。

1 日米同盟を強化しつつ、民主主義国との同盟・連携を築きます。

- ・米軍普天間基地の移転を日米合意通りに進めます。
- ・インド洋での海上自衛隊による給油活動を再開します。
- ・集団的自衛権の行使を禁じた政府解釈を見直します。
- ・インドとの同盟関係、ロシアとの協商関係の構築を目指します。
- ・韓国、オーストラリア、モンゴルなどとの連携強化も図ります。その他の世界の民主主義国とも連携を深めます。